

質 問 者 日 域 究

での取り組みについて伺います。
また、併せて学校施設の耐震化の
取り組みについてもお尋ねします。

答 今後も引き続き、児童生徒の安
全が確保されるよう、学校での防
犯対策の拡充はもとより、地域関係
団体と連携を図り、あらゆる機会を
通じこども達の安全対策に努めます。

学校施設の耐震化は、総合計画実
施計画に掲載されたとおり順次耐震
診断を行い、校舎の耐震化を図って
参ります。今年度は優先度調査と、
その結果を受け、玖波小と大竹小で
1棟ずつ耐震診断を行いました。

少 子 化 対 策 に つ い て

問 少子化対策となる子育て支援策
については、保育費や教育費の
助成、医療費補助、児童手当などの
経済的支援のほか、仕事と子育ての
両立支援策への充実が望まれていま
すが、育児休業など本市の取り組み
状況について伺います。

答 少人数学級の導入による教育
環境の充実、乳児保育などの保
育サービスの実施、子育て支援講座
の開催、医療費助成制度など総合的
な子育て支援策を実施しています。
育児休業などの制度の充実につい
ても機会を捉え啓発して参ります。

給 与 体 系 の 見 直 し で 財 源 を

問 大願寺山問題の解決手法が2月
に示されました。大きな借金を
30年かけてちびちび返すことはもつ
ともです。しかし、どこからお金を
ひねり出すかが大問題。3月議会に
は職員給与改定も議案に出ましたが、
国の指導で近隣の市と同じように下
げる案でした。本来は大借金自治体
の責任を自覚し、その返済資金とす
べく更に人件費を抑えるような独自
の給与改定をすべきです。民営化が
経費削減の切り札ではなく、本体の
人件費を見直すことこそが本丸です。
借金返済の原資を示さないまま、返
済方式だけ変えるのは無責任だと思
いますが、独自の人件費改定の考え
はありますか。

答 公務員は労働基本権が制約さ
れており、その代償措置として
人事院の給与勧告があるため、国の
示す給与が、現在のところ妥当であ
ると言うほかありません。

しかし、職務・職責・職種に応じ
た給与体系に変革させていくため、
管理職手当の定額化や勤勉手当の査
定支給の導入、職名・職責の見直し

なども視野に入れ改革を行い、より
一層の人件費抑制を進めたいと考え
ています。

保 育 所 民 営 化 問 題 に つ い て

問 保育所民営化反対の署名がたく
さん集まりました。財政の都合
があるにせよ、やはり子どもたちに
とって、または保護者にとってある
べき姿を描いた上でその実現のため
に民営化論を展開すべきです。こど
も課の目指す理想の保育所について、
そのメリットを尋ねます。

答 統廃合により、全ての児童が年
少児以上の年齢別保育やニー
ズに対応した保育サービスを受ける
ことができるようになります。つま
り、個々の児童が、より公平で望ま
しい環境で成長することができると
きが、統廃合の最大のメリットと考
えます。

また、さかえ保育所民営化に伴い、
送迎用駐車場の整備、防犯カメラの
設置、保育時間の延長など、公営時
にはできなかった整備やサービスが
実現されています。これが民営化の
メリットだと考えます。また、現在
の保育料の堅持もメリットだと考え
ます。

また、さかえ保育所民営化に伴い、
送迎用駐車場の整備、防犯カメラの
設置、保育時間の延長など、公営時
にはできなかった整備やサービスが
実現されています。これが民営化の
メリットだと考えます。また、現在
の保育料の堅持もメリットだと考え
ます。

小 学 校 少 人 数 学 級 特 区 に つ い て



栗谷小学校の入学式

問 特区を設定し、小学校の少人数
学級を実現したことは評価しま
すが、少ないほど良いわけでもあり
ません。

市が国に提出した特区申請書には
小規模校の統合をするとの記載もあ
りますが適正な児童数はいくらだと
考えますか。

答 学校の主体性と創意工夫によ
る教育の質の向上のため、平成
18年度からの学校選択制、少人数学
級の実施に取り組んでいます。

学校の統廃合は地域で状況も異な
るため、住民の声を聞くなどの取組
みをしており、今後も市長と協議し、
教育環境の向上に努めて参ります。

質問者 福 中 久美子

幼児教育について

問 急速な少子化や核家族化が進む中、子育て家庭が安心と喜びをもって子育てができ、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ、育成される社会の形成こそが重要な課題となっています。子どもは未来の宝です。「三つ子の魂、百まで」といわれているように、幼児教育が大事です。現在、取り組んでいる保育所の統廃合・民営化についてお聞かせください。併せて、保育サービスの充実についてどのように改善されているかお示しください。

また、次世代育成支援行動計画による「子育てをしてみたいまち、おたけ」とは、どんなまちなのか構想をお聞かせください。

答 保育所の民営化は、統廃合と同様に、保護者ニーズの多様化に対応するために、保育料の見直しをすることなく、市全体の保育サービスをあげることが目的としています。保育サービスについては、乳児保育、延長保育、保育時間の延長、一時保育、年末保育、土曜日の通常保育を行ってきました。今後も引き続き

き、充実を図りたいと考えています。こうした保育所の充実と共に、保育所以外の子育て支援策も充実していくことが、トータルな子育て支援施策であり、少子化対策の根幹であると考え、次世代育成支援行動計画に基づく各種施策も同時進行しながら、「子育てをしてみたいまち、おたけ」の実現に邁進したいと考えています。

子どもの安全・安心について

問 昨今、目を覆いたくなるような凶悪事件が次から次に発生して、幼い命が奪われ、残念でなりません。こうした子どもを守るのか、幼い子をもつご家庭は心配な日々を過ごされていることでしょうか。

登校時はボランティアグループの方々があいさつ運動をしながら、児童の安全を見守っていただいております。下校時についてもいろいろな方のご協力により安全対策が図られています。

しかし、外からの守りだけでなく、内から自分自身を守る力も必要です。本市では、こども自身が暴力に立ち向かうことができるよう援助する「CAPスペシャリスト」の養成について助成していますが、その取り組みについて経緯と意図をお聞かせください。

答 教育委員会が人権教育として、平成14年度から児童生徒並びにPTAを対象にしたCAPの講座を実施しています。特に本年度はCAPプログラムを学校や地域で開催できる専門家の養成事業を実施したところ、養成講座に9名の市民の方が受講されました。

今後とも家庭・学校・地域が一体となつて子どもの安全確保に取り組んでいくため、受講者の方々と協働しながら、小・中学校だけでなく広く地域の方々にも、CAPプログラムの学習機会を提供していきたいと考えています。

※CAP：child assault prevention
こどもへの虐待防止



大竹小学校前の安全対策

質問者 原 田 博

財政再建について、 具体策を問う

問 総額が130億円以上の大願寺山宅地造成事業費が今年度末の25億円、平成21年・23年の30億円以上にもなる返済が現在の経済状況などからしても無理。だから、本市は倒産・破産に陥る。それを救済するのが今回提案されている平準化計画だと説明を受けています。平準化が大義の中、その返済代償が市民負担との交換、それも30年間もその重みを背負っていく計画案です。

この計画を実行することで本市の財政再建が可能となり、その暁には、明るい展望や心豊かになる夢の提供ができればいいのですが、残念ながら、期待感が先行した具体的意思表示が示されないままでの提案です。第二期工業用水道事業の裁判の行方による市民負担の圧迫予想など、再建化を図ると言われながら次から次へと一般会計の債務圧迫等、18年3月末大竹市株式会社連結ベースでの借金総額は、490億円にも上ります。

(1) 平準化は案ではない
(2) これまで以上に改革に取り組む